



Type1
ノマドワーカー



Type2
在宅勤務IT開発者



Type3
旅好きテレワーク会社員

ワーケーションペルソナ



Type4
子連れワーカー社員



Type5
大企業働き方改革担当



Type6
多趣味シニア経営者

はじめに | ワークेशनペルソナご利用時の注意事項

【ワークेशनペルソナとは？】

「**ワークेशनペルソナ**」は、2022年1月時点で、日本国内で活動されている「**先進的なワーカー**」のイメージを、具体的にまとめた**仮想ユーザ像**です。記載している「ライフ・ワークスタイル」や顔写真、「課題やニーズ」については、同じTypeに属する複数のワーカーからのヒアリング結果をまとめたものであり、**特定の人物に関する記載ではございません。**

【ワークेशनペルソナをご利用時の注意事項】

ワークेशनペルソナは、**完全無料にて自由にご利用いただけます**ので、以下の注意事項にご留意下さい。

- ・ペルソナを転載される際には、**部分的な切り取りはせず、各Typeのページ全体を掲載**してください。
- ・転載時には必ず「**出典：神奈川ワークेशनNavi**」という記載と共に以下をリンクしてください。

<https://workation.kanagawa.jp/persona/>

- ・ワークेशनペルソナに関するお問い合わせは、以下の問い合わせページまでご連絡ください。

<https://workation.kanagawa.jp/contact/>



Type1 | ノマドワーカー（20代）

【ライフ・ワークスタイル】

大学新卒から就職はせず、クラウドソーシングやSNS等を経由して、Web制作やロゴ作成などのデザイン案件を受託して収入を得ている。

実家を生活の拠点に、HafHなどホテルサブスク、ADDRESSやLivingAnywhere Commonsなど定額住み放題サービスに加入し、毎月の住居費などは節約しつつ、京都や沖縄などに1週間単位で滞在し、デジタルノマド生活を楽しんでいる。

コミュニケーションが好きで、InstagramやTwitterで積極的に発信をしている。

【課題やニーズ】

- ・滞在先の設備の充実度合い（WiFiテレワーク環境や洗濯乾燥機など）
- ・宿泊場所から少し離れたドロップイン利用可能なコワーキングやチェーン店ではないカフェの情報
- ・周辺施設の利便性（食料品や日用品の買い物、レンタカー以外の移動交通手段など）の情報収集
- ・ランチ場所はInstagramで場所から検索し、写真を見て決めたい
- ・滞在先での気の合う仲間と出会いたいので、サポートがあると嬉しい



※顔写真はイメージです。

特定の人物に関する記載ではございません。

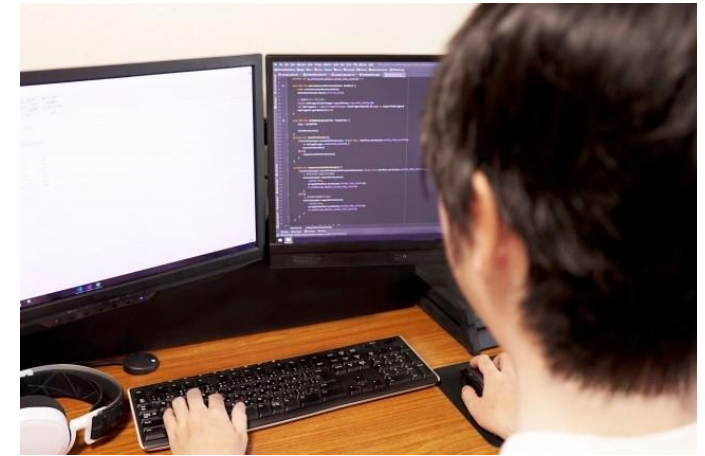
Type2 | 在宅勤務IT開発者（20代後半～30代）

【ライフ・ワークスタイル】

新卒で入ったIT企業を3年で退社し、現在はフリーのプログラマー。
普段はデスク環境が整った自宅で作業しているが、心身の健康のためにも、
ときどき自然を感じられる場所でワーケーションしている。
快適で外部ディスプレイがあり、開発に集中できるコワーキングが好み。
人との交流には積極的ではないが、趣味のサイクリングで仲間と旅するのが
マイブーム。現在は、大学時代の仲間と起業準備中で、拠点は大都市部以外
のどこかの地域に置きたいと考えている。

【課題とニーズ】

- ・ パソコンでの作業に集中でき、デスクやチェア、サブディスプレイなどの設備が充実
- ・ 作業後にすぐにリフレッシュできる環境
- ・ ギークハウスなど興味関心分野が近い仲間と出会い、交流できる環境



※顔写真はイメージです。

特定の人物に関する記載ではございません。

Type3 | 旅好きテレワーク会社員（30代～40代）

【ライフ・ワークスタイル】

若い頃はバックパッカーとして世界中を旅行し、SNSでライフスタイルを発信。東京の大手企業で営業現場を経て、新規事業企画に抜擢されテレワーク勤務中心。環境問題への関心が高く、10年前にプロボノでご縁のあった特定地域と関わり、自分の知人を順番に案内しながら、地域課題解決型の複業にも取り組んでいる。ときには、会社には告げずに地域に滞在したまま会社のテレワークをしている、いわゆる「隠れワーケーター」。恋人と一緒に地方移住も検討中。



※顔写真はイメージです。
特定の人物に関する記載ではございません。

【課題とニーズ】

- ・本業が忙しいため休みを取りづらく、地域とゆっくり関わることができない
- ・移動頻度を減らし、地域に滞在しながらテレワークすることで交通費の出費を抑えたい
- ・補助はいらないので、会社にはワーケーションを禁止せず許可してほしい
- ・家庭を持ち、子育てをするなら、自然が豊かな地域を選びたい



Type4 | 子連れワーケーター社員（30代）

【ライフ・ワークスタイル】

子育てしながら企業でフルタイム勤務中。出張が多く、5歳の子どもをおいていけないことから、自ら子連れワーケーションを実践してきた経験を活かし、会社の新規事業として働き方改革に関するオンライン座談会や、親子ワーケーションのモニターツアーを企画・開催している。

出張先での保育施設探しに苦労しており、業務に支障が出ることもある。

来年、子どもが小学生になることを機に、働き方を見直す必要に迫られている。



※顔写真はイメージです。

特定の人物に関する記載ではございません。

【課題とニーズ】

- ・子連れで人数が増える分、滞在費等の費用がかかる
- ・出張先での業務中の子どもの一時預け先の確保
- ・小学校入学後の学校登校の壁
- ・子どもに学びや自然体験を与えられる第二第三のふるさとを作りたい

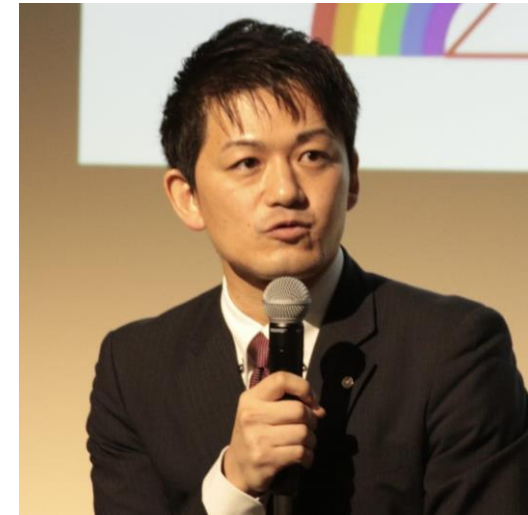
Type5 | 大企業働き方改革担当（30代後半～50代）

【ライフ・ワークスタイル】

大企業の人事総務社員で、**新時代の働き方と雇用改革**を検討している。主に**社員の有給休暇取得促進**や、**場所を選ばない働き方による創造性の刺激**を目的に、社内で試験的にワーケーションを実践している。同時に**新卒採用や離職防止**の観点から、自由な働き方への要望が高まる若手社員を対象に、**ワーケーション勤務解禁への課題**を検討中。自社の役員層にもワーケーションを推奨したり、同様の課題意識を持つ他の企業や自治体と連携して各地で**モニターツアー**を企画している。

【課題とニーズ】

- ・ワーケーションや**場所を選ばないテレワーク勤務制度**導入時の**労務管理上の課題**を解消したい
- ・社員の属性（若手・中堅・経営層）や職種ごとに最適なワーケーション実施をサポートしたい
- ・自治体からの補助金が無くなった後も**持続可能なワーケーション制度**設計



※顔写真はイメージです。

特定の人物に関する記載ではございません。



Type6 | 多趣味シニア経営者（50～60代）

【ライフ・ワークスタイル】

都市部で中小企業を経営するオーナー社長。経営計画を検討する際などに「一人合宿」的なワーケーションを実践している。

社内でも地域課題を学ぶ合宿型のワーケーションを年に数回実施している。現在は、エンジニアの新規採用と離職が課題となっており、福利厚生の実施とコスト負担のバランスに悩んでいる。

趣味はサーフィンやバイク、DIYなど多彩で、仕事とプライベートの境目が曖昧で自由な働き方をしている。そろそろ経営は次世代に引き継ぎ、自身は自然豊かな地方に移住したいと思っている。

【課題とニーズ】

- ・ 社内にワーケーションを導入するための制度を整えることによる離職防止と採用促進
- ・ 社員が自律型人材に成長し、新たな事業にチャレンジできる社風作り
- ・ 個人としては移住先の候補探し



※顔写真はイメージです。

特定の人物に関する記載ではございません。

